

## 留学速報

## ボストン (Massachusetts General Hospital) での留学生活

竹内宗之\*

私は今年1月より、ボストンにあります Massachusetts General Hospital (MGH) に留学中です。アメリカと日本ないしボストンと大阪を比べて、私なりに感じたことはたくさんありますが、ここボストンは昔からたくさんの日本人留学生が来ておられますので、(物を書くのが全く得意でない)私ごときがアメリカやボストンやMGHについて語るなど、とても恥ずかしくてできませんので、私生活の中から印象に残っていることを思いつくままに報告させていただきます。まあ、手術の合間の暇つぶしにでもなれば幸いで、今後留学される方にとって参考になる情報など全く入っておりませんので……。あしからず。

来た当初の問題は、もちろん語学の壁でしたが(これはまだ続いています……。)、最も根本的な問題は寝不足でした。半年になる愚息(これが本当にやかましい)が時差ぼけで夜中になると騒ぎだすのです。こちらの時差ぼけのうちはどうせ寝られないのでまだ良いのですが、1週間くらいたつと、こちらは昼の緊張のせいで非常に眠い。でも彼は夜中になると元気になる……。さらに1週間経過するころになると、引越してきたのが冬だったため、家の集中暖房のせいで喉はやられるし、寝不足でこちらの体調はぼろぼろ。ああ、なんでこんなところに来てしまったのだろう、と鬱になりました。結局、彼の時差ぼけは2週間続きました。その結果かどうか分かりませんが、妻も私も冬の間には何度か病院に行きました。

それから、電話には今でも苦勞しています。銀行やインターネットの開設や苦情・質問をするのに、どうしても電話は避けられません。直接聞き

に言っても、「電話してくれ」と言われる。「なんでやー」と思いつつ、言いたいことを頭の中で箇条書きにしてから、いざ電話。ところが、話したいことに関係する部門に到達するのが至難の業。たいていの初期対応はコンピューターがしているので、時間がかかるし、一度間違えると、「振り出しに戻る(双六みたいだ)」。ここまでで、最速5分。やっとたどり着いたと思ったら、今度はやたら待たされる。「次の係が対応しますのでしばらくお待ち下さい」。で、やっと係の人が出て、さんざんつたない英語で説明させられた後、ここではない、と言われる……。で、「振り出しに戻る」。こんなことを繰り返していると、明日にしよう、とか、もういいや、と思ってしまうわけです。私は謙虚で我慢強い日本人(根性がなくて英語が話せないだけ)。

ボストンで世界的に有名な物はハーバードとかMITとかいろいろありますが、ボストンマラソンもその一つでしょう。4月にあるこのマラソンは街をあげての大イベントで、マラソンが行われる日は休日になります。マラソン見物なんてつまらないだろうけど一度は見ておこう、くらいのつもりでコースサイドに出かけていったらこれが結構面白い。ラジオ局がコースサイドに出張してきて、がんがんロック(ロッキーのテーマ曲とかね)をかけて観客を盛り上げているし、集まった人たちもそれに合わせて乗りまくってる。路面電車もボストンマラソン仕様にペイントされていて雰囲気作りに一役買っていました(ナイキの宣伝はいつも格好いい)。ほくも、何となくわくわくしてきて、有森選手が走ってきた時は、思わず大声で声援してしまいました。日本にいる時には日本が大好きというわけではなかったのですが、

\*国立循環器病センター外科系集中治療科

こちらにきて（日本人にとっての）外国人選手に囲まれて頑張っている日本人を見ると、にわか日本びいきになっておりました。でも、このマラソンが本当にすごいなあ、と思ったのは次の日になってからでした。というのは、前日には選手達や応援の人が捨てていったごみがたくさんあったのに、全部綺麗に掃除されていたのです。これには驚きました。当たり前のように、なかなか出来ないことじゃないでしょうか。ポストニアンもなかなかやるなあ……。

ボストンの冬が寒いのも有名ですが、夏は涼しいと思っていたのに予想に反して結構暑い。地元の人に言わせれば、今年が異常だそうですが、2週間に3日間くらいの割合で熱波がやってきます。このときには日中は気温が体温を越えるので、エアコンの買えない貧乏な我が一家は大変です。それに、近所の人達が夜中エアコンをかけっぱなしにするので、窓を開けて寝ている私達にはとてもうるさいし、エアコンから出る熱が吹き込んできて、悲惨です。だいたい、こちらの人はエアコンを極限まで使うのがお好きなようで、病院やお店の中はいつも寒いくらいです。そのため、会社や病院の電源が容量オーバーで、いろいろな機能が麻痺したりするようです。馬鹿みたいです。あまりの暑さに、先日とうとう「清水の舞台から飛び降りる」気持ちで電気屋さんへ一家でエアコンを買いに行きました。で、店のおじさんに、またまたつたない英語で「エアコンが欲しいんですが……。」と言うと、「何言ってるんだい。今頃来たって、ボストン中探したってあるんもんかい。このクレイジーな暑さだからな。」えっ。「それじゃあ、予約したいんですが……。」「次にエアコンが確実に手に入るのは来年の2月だけどそれでもいいのかい？」いいわけないやろ。そのショックで妻はその日寝込んでしまいました（ほんと）。で、やけくそになって、扇風機を4台も買ってしまいました。てなわけで、残念ながら、わが家には暑い空気がびゅんびゅん動いています。

でも、暑い日にはビール片手に野球観戦が似合います。野球観戦は日本にいる頃から好きだったので、こっちでも何度か球場に足を運んでいます（写真1）。ビール片手にホットドックを食べるという構図は予想通りでしたが、日本とアメリカでは野球場の雰囲気は全然違いました。鳴り物は

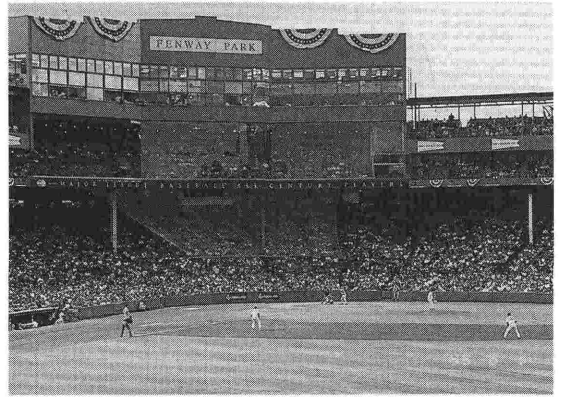


写真1 ボストンレッドソックスのホームグラウンド「フェンウェイパーク」。

ないし、だいたい、試合が緊迫していないとほとんど誰も野球なんて見てない（と思う）。ときどき勝手にビーチボールとかで遊んで盛り上がり、ウェーブをやっては盛り上がる、喧嘩があればみんなでけしかける……。いろいろ楽しみ方があるんだなあ、と変に感動しました。でも、試合がもつれて緊迫した場面では、突然球場全体が一つになったようになって、ああ、一応野球は見たんだと納得しました。それから、今年はたまたまボストンでメジャーリーグのオールスターがありました。チケットは手に入らなかったのですが、当日にはわざわざ球場の近くまで行って雰囲気だけ味わってきました。ボストンレッドソックスは歴史はあるけど勝てない、というどこかで聞いたことのあるようなチームなのですが、一人良いピッチャーがいて、彼がオールスターの先発をするというのでえらい盛り上がってました。あとは、（やっぱり）ビール飲みながら家に帰ってテレビ観戦。このピッチャー、マクガイアやソーサーから三振の山を築いて、次の日の新聞の一面に載ってしまいました。で、私にもわかレッドソックスファンになりました（やたら「にわか」が多い）。でも、彼は張り切りすぎたのか、肘を痛めて後半戦は故障者リスト入りしてしまいました。たしか巨人にもそんな投手がいたような気がするのですが……。

野球だけでなく、夏の終わりには、ニューヨークまでテニスの全米オープンを見に行こうと思っています。きっと日本人選手のコートサイドで思いつき応援してしまうのでしょうか。ははは。そ

れから、ホエールウォッチングにも行かないと……。

あまり仕事に関係ない話ばかりだと遊んでばかりいるように思われて癪なので、仕事のことにも一応触れておきます。私の所属する部署は呼吸療法科であり、麻酔科の一部門に当たります。私はアメリカでの臨床の免許を持っていないので、こちらではもっぱら研究に明け暮れる毎日です(写真2)。我がボスは、換気力学の面では大御所のPhDですので、私の研究も呼吸に関するものです(ごめんなさい。循環ではないのです)。最近では、不適切な人工呼吸方法が肺障害や多臓器不全を起こすということがいろいろな研究で明らかになりましたが、私の実験は逆に換気力学に基づ

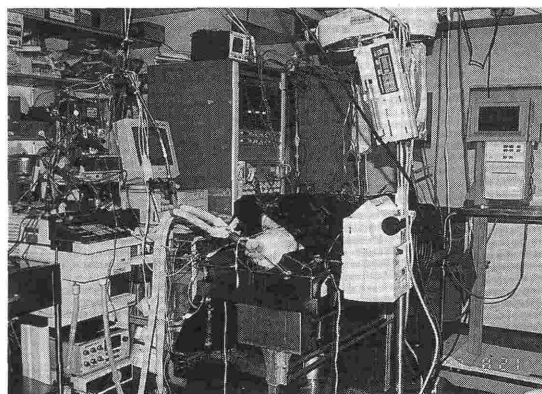


写真2 実験室風景

いた適切な人工呼吸は肺障害や生命予後を改善できるという仮説に基づいた羊を用いた研究です。で、呼吸器系の静的圧容量曲線を書けば、にらめっこという毎日です。でも、比較的臨床に近い状況での実験なので、日本ではほとんど研究をしていなかった私でもとっつきやすいものでした。問題点といえば、やったことがある方には理解して頂けると思うのですが、羊は恐ろしく臭いのです。何しろ彼らは反芻動物です。実験前日から絶食にしても、胃管を入れるとまあ、1リットルくらいは胃内容物が出てくる……。胃管がつまると、どんだんガスが発生するのでしょうか、お腹が風船のように膨れて、呼吸メカニクスを測定している私には非常にまずい状態になってしまいます。で、胃管をいじったりガス抜きをしていると、吐き気を催すほどの臭いが実験室に充満してくるのです(思い出したくない)。実験日は体中が臭くなったような感じになります。シャワーを浴びたくらいでは消えません。まあ、羊はもう一生食べたくありません。

こんな感じで、いろいろな経験をさせていただいております。学問的に進歩できるかどうかはこれからの問題ですが、少なくともこちらに来て初めて解ったことがたくさんあるので、留学させていただいてよかったなあ、と思っております。最後になりましたが、この留学の機会を与えて下さった、阪大の吉矢生人教授、西村匡司先生、国立循環器病センターの公文啓二先生に感謝いたします。